

「花の大産地にいがた」で花を育み、楽しむ

# にいがた\*花育通信

花育に関するさまざまな情報をお届けします。

## Contents

- 特集1 創刊特集「花育ってなに？」
- 特集2 新潟市花育マスター制度を利用してみよう
- 花育レポート1 夏休み子どもフラワーアレンジメント教室を開催
- 花育レポート2 親子園芸教室「ハーブで遊ぼう！」を開催
- 花育ニュース

2010  
**秋**  
創刊号



コスモス

発行者 新潟市農林水産部園芸センター

## 花育ニュース

### 「新潟市花育総合情報サイト」を開設

花育に関する情報を、わかりやすく一元化し、楽しめるサイト「新潟市花育総合情報サイト」を開設しました。

当サイトは、これまで園芸センターをはじめ市役所関係課がそれぞれ実施し、情報提供してきた花育に関する事業・イベントの内容を一元化したサイトです。

イベント情報をはじめ、関連する制度などを紹介するほか、花の壁紙ダウンロードのページや、花に関するクイズ「花育度チェック」のページもあり、楽しく情報を検索できるサイトです。

<http://www.city.niigata.jp/info/engei/hanaiku/index.html>



### 「(仮称)食育・花育センター」について

平成23年7月に、農業の基盤である水と土に恵まれた鳥屋野潟において、全国初の「食と花を一体的に学ぶ」ことができる場を提供することで、新潟の美味しさ、美しさ、豊かさを発掘する目を育て、心と身体の健康づくりを市民運動へと展開する拠点施設として、(仮称)食育・花育センターがオープンする予定です。

現在、園芸センターで実施している、園芸相談、講習会、展示会等の花育業務も、平成23年7月以降は、(仮称)食育・花育センターで実施する予定です。

詳しくは以下のページをご覧ください。

<http://www.city.niigata.jp/info/noko/koryu/koryutup.html>

〈表紙の写真〉



#### コスモス

秋の高原や里山を彩るコスモスは「秋桜」とも書き、多くの人に親しまれています。「可憐」なイメージを思い浮かべますが、晩秋に実った種子が翌春に生えてくるほど、丈夫な春まき一年草です。

にいがた花育通信 2010.秋 創刊号

発行：新潟市農林水産部園芸センター

新潟市農林水産部園芸センター  
〒950-0852 新潟市東区石山2丁目2番38号

Tel:025-286-1034 Fax:025-286-9263 URL:<http://www.city.niigata.jp/engei/index.html>

### 新潟市花育マスター制度とは？

新潟市では、花や緑に関するスペシャリストを「新潟市花育マスター」(以下、「花育マスター」という。)として登録し、学校、職場、市民団体等(以下「団体等」という。)が行う花育活動へ、講師、インストラクターとして派遣しています。

花育マスターの専門分野は、花・樹木・ガーデニング・アロマセラピーなど様々です。

### どうやって利用するの!?

- ①団体等 園芸センターへ「派遣申請書」を提出
- ②園芸センター 派遣通知書を団体等へ送付&花育マスターを紹介
- ③団体等・花育マスター 活動内容・経費負担等、内容の打合せ
- ④団体等 終了後、「活動報告書」を園芸センターへ提出
- ⑤園芸センター 花育マスターへ謝金を支払い

### 花育マスターのこれまでの活動例

#### ①花壇づくり

小学校の花壇づくりをアドバイス

#### 指導内容

花壇のデザイン、土づくり、花苗の植え方、肥料のやり方、花の育て方

#### 参加人数

小学生120名、ボランティア13名

#### ②講演会

病害虫対策を指導

#### 指導内容

江南区公園愛護連絡協議会総会で、公園樹木の病害虫対策を講演

#### 参加人数

協議会員53名



花壇作り指導の様子

#### ③木の剪定の仕方

ケヤキの剪定方法を指導

#### 指導内容

中学校のケヤキの剪定の実技指導

#### 参加人数

中学校学生会メンバー、ボランティア  
地域教育コーディネーター 10名

特集2  
新潟市花育マスター制度を利用してみよう

# 親子でハーブを楽しむ ～親子園芸教室「ハーブで遊ぼう」～



8月25日(水)、新潟市園芸センターで、親子園芸教室を開催し、親子10組が参加しました。  
今回のテーマは「ハーブで遊ぼう!」。バジルやローズマリーなど12種類のハーブが用意され、おいをかいたり、寄せ植えを作ったりしました。  
最後に、レモンバーベナのお茶を飲む企画もあり、夏休みの思い出になったようです。



だんだんと形になってきました。



今回の講師(中央左)は、新潟市花育マスターでもある重泉朋子さん。寄せ植えを始める前に、コツ、注意点などを説明。



まずは、用意されたハーブのにおいをかきながら確認です。



説明を聞いたら実践です。まずは、真ん中から、そして高さをそろえていきます。



当日はテレビの取材も。夏休みにいい思い出になりました!



完成形の1例です。皆さん個性的で同じものは2つとありません。

## 参加者の感想

\*ハーブを植え、お茶を楽しみながら、いろいろなお話が聞けて良かったです。(8歳)

\*家でもハーブを育てていて、家で育てていないハーブがあって楽しかった。(11歳)

\*ハーブを初めてさわって、手の感触が不思議で驚きました。(10歳)

\*ハーブにいろいろな種類があることが分かった。レモンバーベナのお茶がおいしかったです。(9歳)

\*親子で良い夏休みの思い出ができました。とても勉強になりました。(お母さんの声)

# 親子でフラワーアレンジメントに挑戦! ～夏休み子どもフラワーアレンジメント教室～



7月29日、新潟市園芸センターで、親子を対象にした「夏休み子どもフラワーアレンジメント教室」を開催しました。  
親子14組が集まり、切り花を使ったフラワーアレンジメントに挑戦しました。今回は、「お花のことを知ろう」と題し、子どもたちに、まずは花に親しんでもらおうと、用意された花に関するクイズが出題され、楽しみながら、アレンジする花の名前や特徴を覚えることができたようです。



講師の、佐藤忍さん。新潟市花育マスターとしても活躍中です。



最初は、ベースづくり。オアシスベースに鉛筆で目印をつけます。



まずは軸となる花を選びます。どれにしようかな!



形になってきました。もうすぐ完成!?



用意されたのは、ヒマワリ、バラ、トルコキキョウ、カーネーション。



できた!楽しかったよ!

## 参加者の感想

\*どうしたらきれいに見えるか考えながら花を挿したことが楽しかった。(10歳)

\*はじめてで難しかったけど面白かった。(7歳)

\*たくさんのお花を活かされて良かった。(7歳)

\*親子で参加できて良かったです。花や木に触れることは良いことだと思います。(お母さんの声)

\*お花に一番触れた1日でした。とっても楽しかったです。(9歳)

\*ゴージャスにできました!(10歳)

\*お花に一番触れた1日でした。とっても楽しかったです。(9歳)

花育とは、子どもたちに、花や緑にふれ、おもむきながら育つこと。優しさや美しさを感じる心を豊かにしていくことという取り組みです。



花育ってね

ママ花育ってなーに?

- 「食」花の政令市にいがただからできる
- 花の大産地であることを活かし
- 花や緑を育み
- 五感のすべてでこれを楽しみながら
- 健全で豊かな心を培い
- 快適でやさすりのある暮らしを満喫し
- ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史、文化を次世代に伝えること



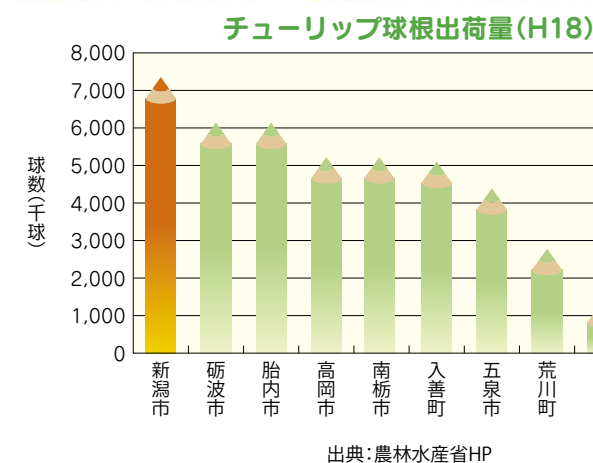
でも新潟市の考える花育って何なの? それに何で今、新潟市で花育なのかしら?

新潟市の花育には理念があるんじゃない

新潟市は、「食」と並んで「花」の大産地であることから、「食」花の政令市にいがたを発信しています。  
しかし新潟市が「食」だけでなく「花」の大産地であることはあまり知られておらず、また私たちの生活の中で「花や緑」にふれることも減っています。  
そこで、全国に誇る花の大産地である新潟市が「全国に誇る花育都市」になることで、「花の大産地にいがた」の知名度を上げて、名実ともに「食」花の政令市にいがた」を作り上げることができるの思いから、花育に積極的に取り組んでいます。



新潟市が花育に  
取り組んでいるのは  
理由があるんじゃないよ。



新潟市は花の生産が盛んです。チューリップ切花・球根出荷量は全国1位。またボクアザレアなどの花木出荷量も全国1位です。

ところで新潟市ってどのくらい花をつくっているの?



# 特集1 創刊特集 花育ってなーに?

私たちの生活を豊かにする花  
いま、花を見て、ふれることによって  
子どもたちの情操教育や地域づくりにつながる、  
「花育」が注目されています。